

第16号

2023年9月11日

発行 (令和5年)

せいしょうのかい おおぞら かいほう
青松の会 おおぞら 会報



おおぞら



「青松の会」の益々のご発展を

目黒区長 青木 英二

青松の会の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

障害のある人の地域社会の中での自立や就労を目指した社会参加のための支援など、飯尾堯彦理事長をはじめとする職員の皆様、関係者の皆様の日頃の活動に改めて敬意を表する次第でございます。

貴法人が運営されております就労継続支援事業所「おおぞら」の活動は、仕事のやりがい、感謝される喜び等、その経験や様々な人との関わりを通じて、利用者一人ひとりの可能性を広げ、豊かな人生につながっています。まさに区が目指している、障害があっても、生まれ育った目黒のまちで、健康で生き生きと自分らしく暮らし続けられることができるまちづくりの方向に叶ったものであります。

一方で、当事者の高齢化や障害の重度化、支援をしているご家族の高齢化、社会参加のためのコミュニケーション支援などの課題もあり、さらに取組を進めていくことが必要でございます。令和6年3月には新たな目黒区障害者計画の策定を予定しており、現在は地域福祉審議会で様々な検討をしています。引き続き、目黒区の障害福祉の充実に向けて取り組んでまいります。

夏の明るい日差しのように、青松の会「おおぞら」の利用者、職員、関係者の皆様の笑顔が溢れる毎日とともに、貴法人の益々のご発展をお祈り申し上げます。

(今年度も、総会に励ましのお言葉をいただきました。)

総会が開かれました

令和5年6月28日に、青松の会令和5年度総会が、おおぞらで開催されました。

令和4年度の事業報告、令和4年度の決算・監査報告、令和5年度の事業計画、令和5年度の予算について報告があり、承認されました。

議事の中で、理事及び監事も選任されました。三浦満喜美 元理事長、小林久士 副理事長、松崎秀子 理事の退任、瀬畑真理 理事、井上明彦 理事の選任が承認されました。

総会後の理事会で、飯尾堯彦 理事長の再任と田中伸治 副理事長が選任されましたことを、ご報告させていただきます。

三浦元理事長、小林前副理事長、松崎前理事には、長い間本会、本施設を支えていただきました。ありがとうございました。その功績を引継ぎ、新体制のもとおおぞらの一層の前進が期待されています。

〇退任のあいさつ

三浦 満喜美 元理事長・前理事

皆さんお元気ですか。私は、体調を崩して「おおぞら」にも行けない状態で、デイサービスでリハビリに励んでいます。元気になれば、お邪魔したいと思っています。「おおぞら」の思い出は、平成12年ごろ、狭い場所にあったミチル会作業所（目黒区中目黒）にかかわり、情熱的に頑張られている「創設者である松沢たゑさん」に出会ったことが大きな励ましとともに転機となりました。そして、平成15年、中町作業所（目黒区中町）に移転し、所の近くに「揚げ饅頭の御門屋」の茶房があり、このご縁で「菓子袋折と紐通し」の受注に結び付きました。その後、自主生産では「干支の飾り物」「季節もののジャムづくり」「エコバッグ」など、広がっていきました。

苦しかったことは、平成22年ごろ、主任や事務担当の常勤さんが退職されたとき、法人として荷を負えない状態になった時でした。でも、一時のことでみんなの情熱で何だかんだ乗り越えてこられました。

そうそう、私の趣味は歌うことで、2004年から「コーラスサークル」に参加し、当初は「メソソプラノ」でした。年とともに「アルト」で声を張り上げていましたが、今は、ちょっと一休み中です。「おおぞらの」発展を願っています。

小林 久士 前副理事長

青松の会が特定非営利活動法人として活動を開始した時に監事として、その後は理事として法人の運営に微力ながら関わらせていただきました。その中で、利用者の方々とは宿泊旅行にご一緒させていただいたり、いつまでも忘れることができない貴重な交流を体験させていただきました。心から感謝しています。法人の運営ですが、決して順調ではありませんでした。多くの紆余曲折があり、一時は続けられないのではと個人的に思ったこともありました。しかし、それも関わった人たちのご尽力や知恵で、ひとつひとつ乗り越えてきたのではと思っています。

今は飯尾理事長のもと、運営や職員体制は落ち着き、将来に向けて利用者の皆様が安心して通所していただける施設になっていくのではないかと思います。

松崎 秀子 前理事

私が理事になったきっかけは、前理事の福富さんから、耳が遠いのでオブザーバーとして参加して、代わりに聞いて教えてほしいと頼まれたことがきっかけです。伊藤理事長の頃です。それから一緒に出ていましたが、発言はしていませんでした。その後、理事会の開催時間が昼から夕方変わったのをきっかけに福富さんがやめるというので、後任として理事になりました。

一番の思い出は、施設開放に協力して実施できたことです。お店やバナナのたたき売りや、手品など盛りだくさんの内容で、区の福祉関係者など多くの方に絶賛されました。おおぞらを知ってもらえる良い機会だったと思います。コロナの対応では、家族会に連絡して了解をもらい、生活のリズムが崩れないよう午前午後に分けて、毎日通えるように協力しました。昨年は、バスハイクも行くことが出来てよかったです。利用者の皆さん、楽しかったと思います。後任も瀬畑さんが引き受けてくださったので、本当に良かったとほっとしています。

着任のごあいさつ

○新理事より

瀬畑 真理 新理事

今年度より、理事を務めさせていただくこととなりました瀬畑真理と申します。4月から通所も5年目になる晴也の母親です。昨年度まで長くご尽力されていた松崎さんの役目を引き継ぐような形になるということで、身の引き締まる思いです。元々わからないことも多くお役に立てるか心配もありますが、縁あってお声かけいただいたので、至らない点も多くあると思いますが松崎さんをはじめ先輩の保護者の方々に教えていただきながら、利用者みなさんが楽しくいきいきと仕事していけるように、職員の皆さまや理事長、先輩理事の皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。

社会情勢がだいぶ変わる中で、先人の努力のおかげで知的障害児・者の生活をバックアップをする制度もできつつあり、保護者も働き続けられるようになりました。一般的な家族のあり方でも国の方針でも就労が必須な方向に行ってるのもあり、家族会も今まで通りのやり方は難しくなっていますが、少し形をかえつつも一部の保護者だけでなくできるだけ多くの皆さまで「おおぞら」を支える事に、ちょっとずつ協力をいただくとありがたいと思っています。よろしくお願い致します。

井上 明彦 新理事

新任理事の井上です。出身は愛媛県松山市で、高校卒業後は東京で5年暮らしました。銀行に就職、大阪に配属となりましたが、結婚後半年で東京に異動となり、碑文谷にあった社宅に入りました。

その年生まれた長男が、就学前の3年間、区のすくすくのびのび園で、当時園長だった飯尾理事長、前田先生に大変お世話になりました。園では「親父の会」でいろいろな行事等に参加、他の父兄や先生方と親睦を深めさせてもらいました。その後も息子が入った少年野球チームのコーチをやったり、30年碑文谷で生活、地域との交流を続けております。

仕事の方は銀行系証券会社で公的機関や地方自治体の財務等を分析する現役のアナリストです。今回理事長からお話を聞き、障がい者支援に関して経験、知識もなく、難しいと思いましたが、何か違った視点や角度からお役に立つことでもあればと思い、お引き受けしました。よろしくお願いいたします。

○新事務室担当者より

伴 博司 事務担当（月、水、金 勤務）

皆様、はじめまして。新事務の伴 博司 と申します。3月まで、他区の小学校で管理職をしておりました。趣味は卓球で、羽田空港の近くに住んでいます。

縁あって、この「おおぞら」で事務職員として週3日、務めさせていただくことになりました。利用者の皆さんの笑顔やお仕事ぶり、職員の姿を見て、少しでもお役に立てたらと心引き締まる毎日です。

まだまだ慣れないことが多いですが、「おおぞら」の皆とともに、さらに素敵なおおぞらにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

月に一回 ミュージック・ケア を行っています

おおぞらでは、講師の先生をお招きして、ミュージック・ケアを行っています。利用者の皆さんはノリノリで楽しい時間を過ごしています。

毎月楽しみにしている利用者さんも多く、次のスケジュールを確かめにいらっしゃる方もいます。



皆で歌ったり踊ったりします。いろんなものを使います。みなで協力して楽しみます。

【おおぞら活動紹介】

自主製品

≪ ステンシルによる布巾、ハンカチの製作 ≫ ≪ エコバッグ (しぼり染め・ステンシル) ≫
 ≪ ビーズワーク (ストラップ・ネックレス・ブレスレット等) ≫ ≪ 干支飾り ≫
 ≪ 木工加工 (キーホルダー・クリスマスツリー等) ≫ ≪ 毛製品 (ハンドモップ) ≫
 ≪ 紙製品 (一筆せん、絵葉書、カレンダー) ≫ ≪ 食品加工 (各種ジャム) ≫ ≪ 布製品 ≫



**企業名やご希望のデザインも、ご相談ください。
 個人・企業受注承ります。お問い合わせください。**

TEL : 03-3710-2531 E-mail : oozora@seishonokai.or.jp

外注作業内容



官 公 需

企 業 受 注

- 区立公園清掃2ヶ所 ・ 四十雀巣箱作り
- 鑑賞魚用エアポンプの部品組立 ・ 箱組み立て
菓子袋折りと紐通し ・ 電源コード加工
毛糸のサンプルセット作成

ホームページ

<http://www.seishonokai.or.jp/>
 又は、「青松の会」で「検索」してご覧下さい。

≪ 青松の会おおぞら職員 ≫

〈施設長〉 圓山賢吾 〈副施設長・サービス管理責任者〉 熊谷重信
 〈主任〉 前田友江 〈支援員〉 石原道・加藤由香里・青木紀子
 戸澤道子・網本敦子・松田淳
 〈事務担当〉 伴 博司

特定非営利活動法人 青松の会おおぞら

〒152-0001 東京都目黒区中央町2-32-13

TEL : 03-3710-2531

FAX : 03-3710-2540

E-mail : oozora@seishonokai.or.jp

発行人 圓山 賢吾